(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2025 年 5月 23日

甲府市長 樋口雄一 殿

提出者

住 所 〒400-0834 山梨県甲府市落合町817番地

氏 名 代表取締役社長 柳屋 司

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 055-241-6261

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

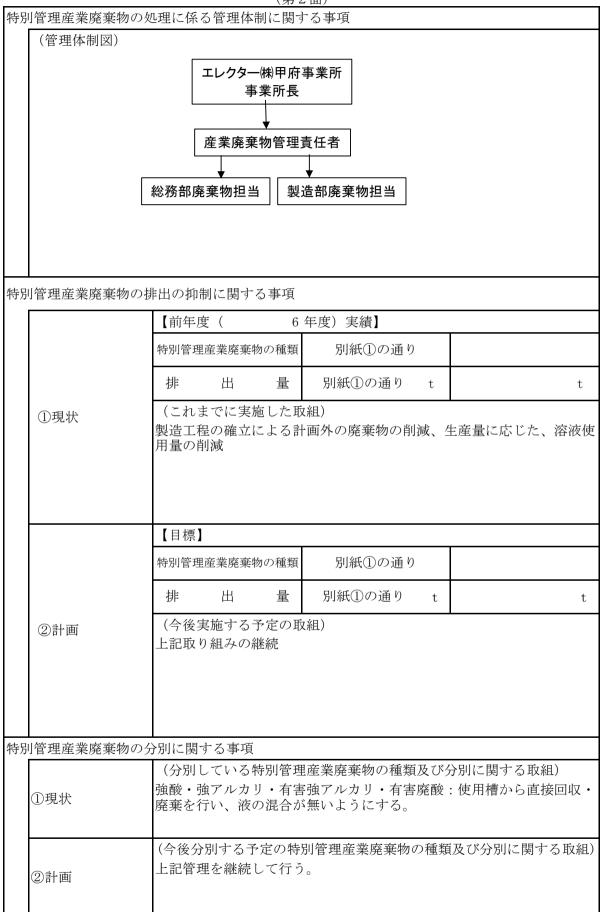
事業場の名称	エレクター株式会社 甲府事業所	
事業場の所在地	〒400-0834 甲府市落合町817番地	
計画期間	令和7年4月~令和8年3月	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	製造業	

② 事 業 の 規 模 資本金:8800万円

③ 従 業 員 数 35人 (令和7年5月現在)

④ 特別管理産業廃棄物 の一連の処理の工程 排出事業者:エレクター(株)甲府事業所 収集運搬業者 処分業者 (中間処理)

(日本産業規格 A列4番)



<u> </u>	全業廃棄物の再生利用に関する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	【前年度(6	年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	別紙①の通り t	
①現状	(これまでに実施した取	(組)	
	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	自 ら 再 生 利 用 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	別紙①の通り t	
②計画	(今後実施する予定の取		
	実施予定なし		
<u> </u> これら特別答理		、	
ON THIMBE		· 美績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	自 ら 熱 回 収 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	別紙①の通り t	
①現状	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	別紙①の通り t	
	(これまでに実施した取		
		,	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	自 ら 熱 回 収 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	別紙①の通り t	
	自ら中間処理により減量する	TUVI (I) A) Z IV	
	特別管理産業廃棄物の量	別紙①の通り t	
②計画	(今後実施する予定の取	7年)	
	実施予定なし		
	i e e e e e e e e e e e e e e e e e e e		

自身	自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
		【前年度(6年度)実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類 別紙①の通り		
		自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 別紙①の通り t 特別管理産業廃棄物の量		
	①現状	(これまでに実施した取組)		
		【目標】		
		特別管理産業廃棄物の種類 別紙①の通り		
		自 ら 埋 立 処 分 を 行 う 別紙①の通り t 特別管理産業廃棄物の量		
	②計画	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
特品	<u>┃</u> 答理産業廃棄物の例	 処理の委託に関する事項		
.14 73	1日	【前年度(6年度)実績】		
		特別管理産業廃棄物の種類 別紙①の通り		
		全 処 理 委 託 量 別紙①の通り t t		
		優良認定処理業者への 処理 委託 量 別紙①の通り t t		
		再生利用業者への 処理委託量 別紙①の通り t t		
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量 別紙①の通り t t		
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 別紙①の通り t 処 理 委 託 量		
		(これまでに実施した取組) 処理業者選定の際、優良認定業者及び再生利用業者への委託を優先す る。		

(第5面)

	(
	【目標】 特別管理産業廃棄物の種類 別紙①の通り	
	全 処 理 委 託 量 別紙①の通り t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量 別紙①の通り t	t
	再生利用業者への 処理 委託 量 別紙①の通り t	t
	認定熱回収業者への 処理 委託 量 別紙①の通り t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 処理業者選定の際、優良認定業者及び再生利用業者への委託を優先	する。
	【前年度(6年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 92.5 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	t
電子情報処理組織の使用 に関する事項 (今後実施する予定の取組等) 引き続き電子マニフェストの使用を継続する。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入する こと。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了 するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入するこ と。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の 種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管 理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、 目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の 種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業 廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入するこ と。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあっては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別紙① 令和6年度 実績値

種 類	強アルカリ	強酸	有害強アルカリ
排出量 実績値	44.8 t	20.1 t	23.6 t
自ら再生利用を行った特別管理 産業廃棄物 実績値	0 t	0 t	0 t
自ら熱回収を行った特別管理産 業廃棄物 実績値	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物 実績値	0 t	0 t	0 t
自ら埋め立て処分を行った特別 管理産業廃棄物 実績値	0 t	0 t	0 t
全処理委託量 実績値	44.8 t	20.1 t	23.6 t
優良認定処理業者への処理委 託量 実績値	44.8 t	20.1 t	23.6 t
再生利用業者への処理委託量 実績値	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託 量 実績値	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量 実	0 t	0 t	0 t

令和7年度 計画値

種類	強アルカリ	強酸	有害強アルカリ
排出量 計画値	46 t	21 t	23 t
自ら再生利用を行う特別管理産 業廃棄物 計画値	0 t	0 t	0 t
自ら熱回収を行う特別管理産業 廃棄物 計画値	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物 計画値	0 t	0 t	0 t
自ら埋め立て処分を行う特別管 理産業廃棄物 計画値	0 t	0 t	0 t
全処理委託量 計画値	46 t	21 t	23 t
優良認定処理業者への処理委 託量 計画値	46 t	21 t	23 t
再生利用業者への処理委託量 計画値	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託 量 計画値	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量 計	0 t	0 t	0 t

有害廃酸	有害汚泥
3.4 t	0.6 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
3.4 t	0.6 t
3.4 t	0.6 t
0 t	0 t
3.4 t	0 t
0 t	0 t

有害廃酸	有害汚泥
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t
0 t	0 t